

令和2年度 県立牛久栄進高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	<input checked="" type="radio"/> A 妥当である <input type="radio"/> B おおむね妥当である <input type="radio"/> C あまり妥当でない <input type="radio"/> D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス渦で大きな影響を受けたにもかかわらず工夫を重ねて目標達成のために努力を重ね、地域に開かれた学校づくりを推進した。ともなう、国際理解教育の達成が不十分であったことはやむを得ない。今後の対策が必要である。 ・新学習指導要領の実施に向け努力と工夫を重ねている。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	<input checked="" type="radio"/> A 妥当である <input type="radio"/> B おおむね妥当である <input type="radio"/> C あまり妥当でない <input type="radio"/> D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、進路指導に比して、生徒指導や特別活動の評価が低い理由は、コロナウイルスの影響であるのか否かの分析が必要である。 ・ICT 機器を積極的に活用している。ICT の活用は授業の効率化や働き方改革にも結び付くので、今後も積極的に活用して欲しい。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	<input checked="" type="radio"/> A 十分把握している <input type="radio"/> B おおむね把握している <input type="radio"/> C あまり把握していない <input type="radio"/> D 把握していない	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症対策の適宜改定が必要であり、同時に保護者への情報公開をお願いしたい。 ・コロナウイルス渦も踏まえ、ICT 教育の推進とその教材づくりが課題である。オンラインや動画配信を考慮する。 ・ICT 教育の充実については、国や県の政策に振り回されず、しっかりとした授業の在り方を考える必要がある。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	<input checked="" type="radio"/> A 適切である <input type="radio"/> B おおむね適切である <input type="radio"/> C あまり適切でない <input type="radio"/> D 適切でない	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教育や SNS の利用に関する情報教育にしっかりと取り組んでいる。 ・家庭や生徒に、医学部進学ニーズがどの程度あるのか検証し、幅広く対応すべきである。 ・教職員のワークライフバランスの改善が課題である。
5. その他、ご意見があればご記入ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な視点にたったの学校経営を行っている。 ・学校行事を中止とする際の代替行事を事前に検討しておく。 	

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。